



発行●**狛江市政策室**
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5
☎3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp
編集・制作●特定非営利活動法人**k-press**
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3
ル・ミリオン・イイダ3階A号
☎3430-6617 FAX3430-6743
Email=wacco@k-press.net

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。
お問い合わせ・ご意見は狛江市政策室へ

ノーチャイムなど多くの特色

「子供と大人が協働して築く」学校をモットーに

児童数の減少による学校間の格差をなくすため、狛江第四小学校と狛江第八小学校を統廃合して平成13年に開校した。旧四小の校舎で開校した後、旧八小の校舎を増築して14年に移転、今年で24年目を迎えた。

「子供と大人が協働して築く和泉小学校」「あるがままの自分を愛し、前向きに生きる子」



●**児童運営委員会**●4・5・6年生の代表約20人による児童会のような組織で、今年度に発足。「よりよい学校」を目標に、学校行事などについて、子どもと教職員が意見を出し、話し合いで問題を解決している。

●**ノーチャイム**●児童の主体性を育てる取り組みとして始業や昼休みなどを知らせるチャイムを鳴らさないノーチャイムに取り組んでいる。ただ、時計の見方を習っていない低学年の児童のため、検討した結果、1学期は始業開始、中休みと昼休みの終わり、2学期は中休みと昼休みの終わりに鳴らし、3学期はなくすように改めた。

●**SDGs教育**●切手やペットボトルキャップの回収に加え、市内の学校では初めて長期休み前にフー

をモットーに、「自ら行動する子」「かわり合い、よりよい自分を目指す子」を目標に、児童運営委員会の設置やノーチャイムなど、子どもたちの自主性を重んじる教育を行っている。

ドドライブに協力、「令和5年度狛江市環境表彰制度」の市長賞を受賞した。

●**クラブ**●校庭スポーツ、体育館スポーツ、卓球、オセロ・将棋・昔遊び・百人一首、ダンス、まんがイラスト、手芸、音楽合奏、工作、科学、バスケットボールの11クラブがある。

●**文化施設での学習**●低学年の生活科は伊豆美神社、兜塚、むいかから民家園など学区内の文化施設に出向いて学習する。



●**鼓笛隊**●約15年前から6年生全



▷7◁

和泉小学校

中和泉3-33-1
鷺見真太郎校長、教職員52人、児童18学級、517人、卒業生2,049人
敷地12,285㎡、校舎＝鉄筋コンクリート造り3階建て（普通教室18室、特別教室11室）
(10月1日現在)

鷺見校長プロフィール▶練馬区の小学校を皮切りに和泉小学校、都教育委員会などに勤務。狛江第六小学校、狛江第一小学校の副校長を経て令和3年に和泉小学校長に着任。狛江市の勤務は通算18年を数える。



員が参加する鼓笛隊がある。学校発表会などで演奏するほか、令和4年から狛江市民まつりにも参加している。

●**図書室**●住民交流都市・山梨県小菅村産のヒノキの間伐材を床に使った図書室。普通教室の約2.5倍の広さがある。



●**農園「きずなみどり畑」**●学校運営協議会の会員や農家などの協力でナス、トマト、キュウリ、枝豆、ジャガイモなどの野菜を栽培している。毎朝、理科栽培委員会と給食委員会の児童が水やりを、低学年の児童が栄養士の指導で収穫を行う。野菜を給食で使う時は廊下に展示する。カレーなどの具材のほか、野菜チップとして提供し、地産地消の教育になっている。来年度開設する学童保育所建設に伴い、畑が校庭南西側に移転、農家や地元企業などの協力で、重機を使って表土を移した。



○**和泉小おやじの会**＝OBを含めて約20人が活動。3年前から夏に校舎をお化け屋敷にする肝試しを開催、多くの児童と家族が訪れた。今年のお化け役は、初めて狛江第三中学校の生徒が務めて人気を呼んだ。また、夏の思い出作りとして花火大会を開催している。ただ、今年は天候の影響で中止となった。漢字検定や英語検定、運動会の手伝いを三中のおやじの会と合同で行っている。



○**出張! まなびや**＝放課後の居場所作り活動を普段あいとぴあセンターで行っている市民団体「まなびや」が、学校と地域を結ぶことを目的に7月17日(金)に初めて校内で開催。児童14人がスライム作り



などの遊びを楽しんだ。
○**和泉小学校PTAサークル読書の会**＝昭和56年に狛江第四小学校で発足した。PTA会員など8人が低学年の朝読書の時間やPTAのイベントなどで読み聞かせをしている。



わたしの和泉小 野菜チップスがおいしい

6年生 (中林実莉、菅澤遼、田波優也、前川陽翔、山崎榛真、石井大貴：敬称略・写真)

好きな場所＝みんな揃って学校で一番長く過ごす教室が安心できる。野菜を育てる畑で、育てた野菜は給食で食べられる。みんなで遊べる校庭。日当たりが良く気持ちのいい屋上。

人気の給食＝具材がたくさん乗っていてスープがおいしいしょうゆラーメンで、野菜が苦手な人にも人気。学校の農園で採れたサツマイモやジャガイモ、カボチャなどをスライスした野菜チップスで塩辛さが良い。皮がパリパリしていて中に肉や野菜がたくさん入っているジャンボギョウザ。



○**きんたの会**＝平成6年に発足した和太鼓グループ。和泉小などの小学生から大人まで15人ほどが主に日曜日に和泉小で和太鼓、しの笛、踊りなどを練習している。狛江市民まつりなど市内の祭りやイベントに多く出演している。



OBから 多摩川でのびのび遊んだ

造園会社役員 白井誠さん
和泉小学校の前身の狛江第八小学校を昭和61年に卒業しました。小学生時代はまだ子どもの数が多く、母校が統廃合になるとは思っていませんでした。学校の名前は変わりましたが、当時の校舎が今も使われていて、懐かしさと親しみを感じます。



小学生の頃の多摩川は水が汚くて遊泳禁止でしたが、同級生や先輩とよく遊びに行きました。夏の夜に川で泳いだ後、学校のプールで体を洗ったり、多摩川で釣ったコイを放したりしました。見つかったり叱られたりしましたが、のんびりとした時代で、子どもたちはのびのびと遊びました。

いまは、良い大学に入ることがゴールと考える人も多いですが、小・中学生時代は人間関係も含め、もっと自由に好きなことをたくさん経験してほしいと思います。
〈プロフィール〉昭和49年狛江生まれ、狛江育ち。父が創業した(株)和泉園に入社、現在は植物のリースや装飾などを担当する取締役事業本部長を務める。子どもが和泉小に入学し、PTA会長を務めるほか、おやじの会の活動に参加した。